

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 清水 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

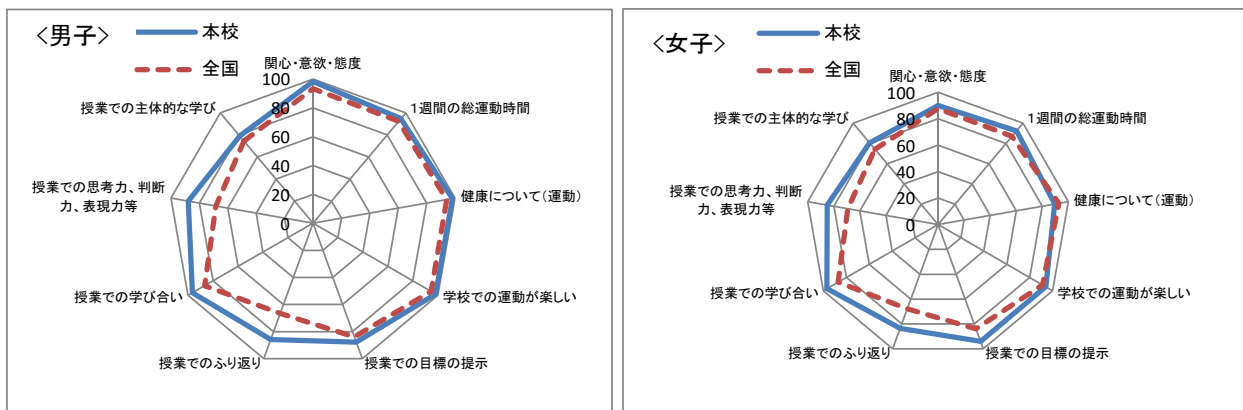
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52
本校全国平均以上の種目	○	○		○					

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○		○	○		○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○「運動好きか」と「1週間の総運動時間」は、男女で差が認められ、「運動は大切か」になると、男子が10%も女子を上回る結果であった。また、学校での体育科の学習に関しては、どの項目も全国平均を大きく上回り、学び合いや目標をもつことを重視した授業が実践されていることがうかがわれる。「体育科の学習が楽しい」になると、女子の数値が高くなりつつある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○体育科の授業改善として、「めあてを明確にし、板書すること」「ペアやグループでの学び合いを設定すること」「振り返りをする」と進めてきている。望ましい結果となっているので、この取組を続けていく。女子は、体育科で楽しい授業体験を積み重ねていくことで、運動への関心を高めるようにしたい。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○運動委員会や集会委員会の児童会活動として縦割りの大縄跳びに取り組んだ。1年から6年までの8~10名をひとグループとし、高学年が低学年に教えながら楽しく八の字跳びに取り組んだ。3学期は競技大会も開催した。ほぼ、全員が跳べるようになっている。短縄での縄跳びカードを工夫し、家庭でも努力できるようにした。